

校						合 計											
学 級 数			教 職 員 数			学 校 数			児 童 生 徒 数			学 級 数			教 職 員 数		
本 校	分 校	計	本 校	分 校	計	本 校	分 校	計	本 校	分 校	計	本 校	分 校	計	本 校	分 校	計
						1	0	1	88	0	88	6	0	6	9	0	9
						2	0	2	224	0	224	13	0	13	17	0	17
7	6	13	13	11	24	2	1	3	315	168	483	13	6	19	21	11	32
7	6	13	13	11	24	5	1	6	627	168	795	32	6	38	47	11	58
10	0	10	20	0	20	3	0	3	978	0	978	30	0	30	47	0	47
10	0	10	19	0	19	2	0	2	446	0	446	17	0	17	28	0	28
						1	0	1	71	0	71	6	0	6	9	0	9
						2	0	2	144	0	144	12	0	12	18	0	18
20	0	20	39	0	39	8	0	8	1,639	0	1,639	65	0	65	102	0	102
3	0	3	8	0	8	3	0	3	242	0	242	16	0	16	25	0	25
3	0	3	8	0	8	3	0	3	242	0	242	16	0	16	25	0	25
						1	0	1	69	0	69	6	0	6	8	0	8
						1	0	1	69	0	69	6	0	6	8	0	8
3	0	3	9	0	9	5	0	5	363	0	363	24	0	24	39	0	39
33	6	39	69	11	80	22	1	23	2,940	168	3,108	143	6	149	221	11	232

に考慮する。

- ㊦ 相当期間へき地学校に勤務し、都市又は平地の学校に転出を希望する者については、優先的に考慮する。

なお、昭和49年度以前採用者及び昭和50年度以降採用者のへき地学校勤務年数は別表3による。

- ㊧ 会津ブロックより他ブロックに転出を希望する者については優先的にその転出を考慮する。

別表2

級別	教育事務所、へき地教育振興会指定へき地	人事委員会指定へき地				
		特准1級地	1級地	2級地	3級地	4級地
勤務年数	5年以上	4年以上	3年以上			

別表3

年 度	出身管内外別	へき地級地別		
		教育事務所、へき地教育振興会指定へき地、特准1級地	1級地	2級地以上
昭和49年度以前採用者	出身管内へき地	5年以上	4年以上	3年以上
	出身管外へき地(昭和53年度まで)	4年以上	3年以上	2年以上
	会津ブロック外出身者の会津ブロックへき地	3年以上	2年以上	
昭和50年度以降採用者	出身管内へき地	5年以上	4年以上	3年以上
	出身管外へき地	5年以上	4年以上	3年以上
	会津ブロック外出身者の会津ブロックへき地	4年以上	3年以上	

昭和52年度へき地交流件数

転 入 出	へき地への転入件数			へき地からの転出件数		
	A→C	B→C	計	C→A	C→B	計
小学校	47	89	136	85	156	241
中学校	40	42	82	60	52	112
計	87	131	218	145	208	353

- ㊦ へき地派遣制度

へき地校勤務満了教員で、都市又は平地の学校に勤務する教員のうちから、成績優秀な中堅教員を厳選して計画的にへき地学校に派遣し、その教育実践をとおしてへき地教育振興に役立てるとともに、当該教員が相当期間勤務し、その勤務成績が良好の場合は、抜てき人事等の優遇措置を講ずることとした。相当期間とは3年以上である。

昭和52年度末は特に南会津西部地区を重点地区に設定し、教職員組織の充実強化をはかった。

- (2) へき地学校教職員の経済的優遇策

- ① 旅費配分における優遇措置

旅費の配分算定資料として、へき地学校の場合には、教員1人当たり5,000円の研修旅費を支給し、優遇している。

- ② 赴任旅費の支給

4、5級の高度へき地の学校に赴任する新採用教員に対する赴任旅費を支給している。